

令和2年 2月17日

平成31年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 医学系研究科  
氏 名 山崎英俊

活動テーマ	歯科のない病院における口腔ケアの現状の把握と標準化の試み
実施期間	平成31年 4月 1日 ～ 令和2年 3月 31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>初年度である昨年度は、本テーマを推進するために、県内94病院を対象にアンケート調査を行い、歯科のある病院と歯科のない病院に分類し、解析を行った。また、歯科衛生士を中心に本事業の説明を行った。</p> <p>本年度は、引き続き「病院における医科歯科連携による口腔ケア現状調査」のアンケートの詳細な解析と口腔衛生指導を希望する病院の訪問調査を計画した。また、口腔水分計（ムーカス<sup>®</sup>）の効果を評価するため、歯科衛生士学生に講義・実習を実施するとともに、成人の口腔内の浸潤度を測定した。また来年度事業継続に向けて、本年度の事業経過の説明と口腔機能評価測定機器についての研修会を実施予定である。また本事業を三重大学がんセンターの医科歯科連携部会にて説明した。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 三重県立公衆衛生学院にてアンケート内容の解析と今後の協議事業を進める病院の選定 令和元年4月10日・8月28日</li><li>2) 公衆衛生学院の学生講義・実習にてムーカスを用いての口腔内測定 令和元年5月15日・5月29日（講義・実習） 担当：近田紀子・前田尚子</li><li>3) 選定病院での事業内容の説明 遠山病院 令和元年 9月12日（前田・丹羽） 12月18日（前田、近田）</li><li>4) 医科歯科連携部会にて本事業の説明とアンケート結果の説明 令和2年1月26日（三重県歯科医師会館にて 山崎）</li><li>5) 口腔ケア研修会の実施 遠山病院 令和2年2月10日 担当：近田紀子・丹羽友美・前田尚子</li><li>6) 特定非営利活動法人 三重県歯科衛生士会にて 口腔ケア研修会の実施 令和2年3月15日 担当：丹羽友美・近田紀子・前田尚子・山崎英俊</li></ol> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p>

がん患者の周術期等における口腔ケアや歯科治療を多職種が連携・協力して進めることにより、各種がん治療の副作用・合併症の予防や軽減など、がん治療効果の向上およびがん患者の療養生活の質の向上を目指すことを目的とし、平成 25 年に三重県、三重大学医学部附属病院がんセンターが中心となり活動している三重県がん診療連携協議会、三重県歯科医師会の 3 者ががん患者医科歯科連携協定を締結し、連携・協力してがん患者が口腔ケアや歯科治療等の口腔管理を行うことができる体制整備を継続して行っている。本活動は、病院での医科歯科連携推進による口腔管理体制の推進を図るとともに、歯科のない病院への歯科衛生士の配置サポート及び歯科衛生士養成学校での本分野での指導者の養成も含まれ、今後の三重県の医科歯科連携の推進により県民の口腔衛生の向上を目指す画期的な取り組みである。

(3) 共同実施者との連携状況

事業打合せ会議を 3 回開催した。

(開催日 令和元年 4 月 10 日・8 月 28 日・1 月 26 日)

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

平成 25 年に三重県、三重大学医学部附属病院がんセンターが中心となり活動している三重県がん診療連携協議会、三重県歯科医師会の 3 者ががん患者医科歯科連携協定を締結し、連携・協力してがん患者が口腔ケアや歯科治療等の口腔管理を行うことができる体制整備を継続して行っている。本活動は、病院での医科歯科連携推進による口腔管理体制の推進を図るとともに、歯科のない病院への歯科衛生士の配置サポート及び歯科衛生士養成学校での本分野での指導者の養成も含まれ、今後の三重県の医科歯科連携の推進により県民の口腔衛生の向上を目指す画期的な取り組みである。がん患者の周術期等における口腔ケアや歯科治療を多職種が連携・協力して進めることにより、各種がん治療の副作用・合併症の予防や軽減など、がん治療効果の向上およびがん患者の療養生活の質の向上を目指せると考えており、本事業で得られた成果は、大学における今後の口腔衛生のあり方に関わる医学教育・研究に大いに貢献する事業であると考えている。

(5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)

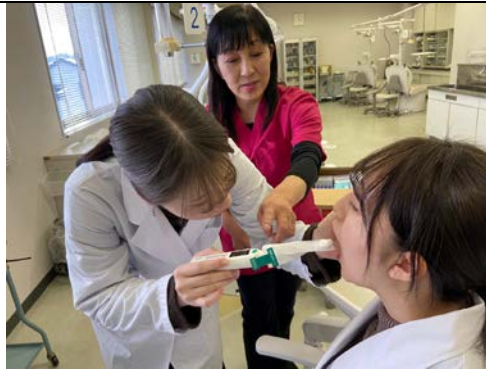
① 公衆衛生学院の学生実習にてムーカスを用いての口腔内測定

開催場所：三重県立公衆衛生学院

日 時：令和元年 5 月 15 日・5 月 29 日 (講義・実習)

対 象：三重県立公衆衛生学院 歯科衛生学科 3 年生 30 名

担 当：近田紀子・前田尚子



② 口腔ケア研修会の実施 令和2年2月10日

開催場所：遠山病院

対 象： 遠山病院看護部 33名

内 容： 医科歯科連携調査報告・口腔内アセスメント法  
口腔ケア実践・口腔内評価法ムーカスの使用方法

講 師： 共同研究者 近田紀子（前田、丹羽）



③ 口腔ケア研修会の実施 開催日 令和2年3月15日（予定）

開催場所：津センターパレス

対 象： 県内歯科衛生士40名程度

内 容： 医科歯科連携調査報告・口腔内アセスメント検討  
口腔ケア実践・口腔内評価法ムーカスの使用方法  
来年度計画の説明

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

前年度の調査結果より歯科を持たない病院の看護師あるいは病院の75%が口腔衛生に関して非常に大きな興味関心を持ち、歯科関連者との医科歯科連携を希望していることがわかった。今年度はアンケート結果から、口腔内の評価項目を検討することを目的に歯科衛生士の教育現場で医科歯科連携の重要性を講義するとともに口腔内の評価法として口腔水分計を用いた測定を成人女性にて実施した。また、実際の協力病院にて研修会を実施し、看護師が行う効果的なアセスメント方法、ムーカスを使用した客観的評価ができる評価法についても実践説明を行った。アンケートのみならず、講演、指導により、医科歯科連携の重要性についての理解が深まり、今後事業化する上で

の問題点も確認できた。今後の、他病院での研修会や歯科衛生士の教育現場で生かしてゆきたいと考える。

三重県がん診療連携協議会、三重県歯科医師会、三重大学がんセンターの3者が行うがん患者医科歯科連携部会にて、アンケート結果を元に本事業の重要性を報告し、本事業終了後の歯科衛生士の派遣及び雇用について、行政、歯科医師会、会員病院と議論できたことは大きな成果である。現在、三重県と三重県歯科医師会では、在宅歯科医療の充実や医科歯科連携の推進のため、地域口腔ケアステーションを整備している。地域口腔ケアステーションでは、医療・介護関係者等と連携して県民の皆さんに効果的な歯科保健医療サービスが提供できるよう取り組んでおり、本事業と地域口腔ケアステーションをどのように連携すべきかの議論ができたのは大きな成果である。

本事業は歯科衛生士の理解と協力がなくては実現が難しい。歯科衛生士会会員には定期的な研修会にて本事業の説明と報告をしており、本事業が、県民への質の高い歯科保健医療サービスの提供や歯科衛生士の新たな雇用の創出や配置事業につながる大切な事業である事を強く認識いただき、大きな助言と協力・支援をいただいている事を付記したい。